

子ども食堂開かれる

1月28日(日)／高野農村センター（大字大島）

「杉戸町 子ども食堂」が高野農村センターで行われました。当日は30名程度が参加しました。主催団体の「はらぺこ」さんは子どもたちの居場所作り、食事を通して食育や食文化の継承、町の農産物への親しみを感じてもらうなど、楽しい体験の場や食事を提供しています。

(広報特派員 長島 常夫)



日頃の地域活動で交流

1月27日(土)／生涯学習センター（大字大島）

「心のふれあう住みよい杉戸」をテーマに杉戸町コミュニティ祭が開催されました。町内で活動している大正琴、ダンス、三味線、ウクレレなど11団体の多彩な発表が盛大に行われました。当日は、100名以上の鑑賞者が訪れ、会場内は拍手と活気で溢れていました。

(広報特派員 渡辺 光子)



1月18日(木)／子育て応援フードパントリーへ寄贈  
子育て家庭を応援しています

埼玉りそな銀行杉戸支店様より、1月5日(金)～17日(木)までに実施したフードドライブにて集められた寄付品を町へ寄贈いただきました。

子育て支援課



町では、集まった寄付品について、町内の希望するひとり親家庭に食料品等を無料で配布活動している「すぎと居場所づくり応援隊」に寄贈し、支援を行っています。

1月29日(月)／株式会社西武ライオンズと協定締結  
スポーツの力で地域活性化

株式会社西武ライオンズの地域コミュニティ活動「L-FRIENDS」の一環として連携・協力していくため、協定を締結し、59市町村目の「ライオンズフレンドリーシティ」となりました。

総合政策課



この協定は、株式会社西武ライオンズと自治体を持つ資源を互いに有効活用し、様々な事業の協業を通して、地域社会の発展や住民福祉の向上などに寄与することを目的に行われるものです。

1月上旬／宝くじ助成金  
地域の安心・安全を守るために活用

消防団活動にて活用するため、宝くじの助成金を受けて、ヘルメット85個を整備しました。

危機管理課



一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の健全な発展を図ることを目的に、コミュニティ助成事業を行っています。

1月12日(金)・19日(金)・24日(水)・26日(金)・2月1日(木)／「しごとのこころ」出張授業  
将来の自分について考えてみよう

町内小学校にて、小学6年生を対象に「しごとのこころ」出張授業が開催されました。株式会社セキ薬品関峯伎さんを講師とし、これまでの経験等をお話いただき、進路・職業選択につなげてもらう授業となりました。

人権・男女共同参画推進課



授業を受けた児童からは「大きな壁にぶつかっても、あきらめずに努力していきたいと思った」等の感想が寄せられました。

シティプロモーションサイト「スギトゴト」

3月29日(金)にシティプロモーションサイトが公開されます！

何気なく通りすぎている町の景色に息づく物語、暮らしてきた人の思い。  
現在進行形で生まれているワクワクするような出来事たち。  
このまちに存在する杉戸のことを「スギトゴト」と呼んで紹介していきます。  
スギトゴトがまちに関わるみなさん一人ひとりの自分ゴトとつながって、  
未来の新しいスギトゴトを生み出していく—  
そんな思いで発信していきます。



※画像は開発途中のものです。

町内外の方が杉戸町のことを知り、好きになってもらうため、シティプロモーションサイト「スギトゴト」を公開します。

ポイント

町の紹介だけでなく、杉戸町に関わりを持つ方からのインタビュー記事を掲載し、リアルな杉戸の魅力を発信しています。



特派員  
レポート

冬の寒さに負けず、元気に体を動かす

1月24日(水)／杉戸西隣公園（高野台西4丁目）

4年ぶりに高野台南グランドゴルフクラブ大会が開催されました。8ホールを4回まわった数値で成績を競いましたが、参加者がホールインワンをだすと皆で「おめでとう」と声を掛け合う姿は微笑ましく、素晴らしかったです。風が強く、寒さが厳しい中での大会でしたが、高齢ながら、元気に楽しんでいる様子に人生こうありたいと思いました。

(広報特派員 島山 千鶴子)



楽しみながら学びましょう

1月18日(木)／杉戸第二小学校（大字倉松）

春日部法人会杉戸支部の主催による「らんま先生のおもしろサイエンスショーと租税教室」が開催されました。5・6年生を対象に、税金の勉強と子どもたちを交えた実験などのサイエンスショーに児童たちは楽しみながら学習しました。

(広報特派員 荻原 千秋)

